

IOSCOは、発行体が、COVID-19の影響について、公正な開示を行うことを奨励する。

証券監督者国際機構（IOSCO）の代表理事会は本日、発行体の経営成績、財政状態及び見通しに対するCOVID-19の影響について、適時に高品質の情報を得ることが投資家及びその他の利害関係者にとっての重要である旨を強調する声明文を公式に発表した。

COVID-19の流行とそれが引き起こした不確実性は、財務報告と監査に重大な影響を及ぼすものであり、最新で信頼できる情報の発行体による開示は投資決定にも影響を与える。現在の状況は財務諸表以外での開示をより困難にする可能性があり、高品質な開示がより一層重要である。COVID-19の状況に鑑み、我々は資本市場が適切に機能するために非常に重要である、高品質な報告基準と開示規制の開発、一貫した適用及び執行に完全にコミットする。

COVID-19における開示の重要性に関する声明において、IOSCOは、

- 財務諸表における認識、測定、表示された金額について、COVID-19が与える影響を開示することの重要性を強調。
- 透明かつ完全な開示の重要性を強調し、不確実性が高まる環境下では、特にCOVID-19に関する重要な判断及び見積もりが含まれる際には、開示は個別具体的かつ透明であることが重要である点に言及。
- 現在の状況下では、企業は、信頼性があり、かつ有益な非GAAP指標の要素について、注意することが重要である点を強調。
- 半期の財務報告では、変化する環境下での重要な情報及び経営者の対応について、より強固な開示が要求される点に言及。
- 期末監査では、監査人は、監査上の主要な検討事項（KAM）において、監査人がどのようにCOVID-19の影響に対応したかも含め、報告する責任があることを再確認。
- 発行体が、当局によって財務情報の提出期限が延長されたことも考慮の上、責任をもって、合理的かつ裏付けのある判断を含む適時かつ包括的な財務情報を提供することを奨励。